

防災行政無線などを用いた情報伝達訓練を行います

▷問い合わせ先＝防災管理室(☎内線251)

Jアラート(※)による緊急情報を確実に伝えるため、全国一斉の訓練が行われます。

▷日時＝12月4日(水)午前11時ごろ

▷内容＝市内に設置している防災行政無線の屋外拡声子局および希望世帯に設置した戸別受信機から放送を行うほか、ツイッター、SNSへの配信、FMねまらいんへの割込放送も行います。なお、実際にJアラートの情報を受信した場合、

下表の方法で情報を伝えることとしています。今回の訓練は、①に該当します。

■放送内容

(上りチャイム)
これはJアラートのテストです。
※3回繰り返し
(下りチャイム)



○Jアラートの情報伝達方法

情報の種類	防災行政無線	ツイッター	SNS(地域のきずな)	コミュニティFM割込放送	緊急速報メール(今回の訓練では配信されません)
① 国民保護情報など	○	○	○	○	○
② 緊急地震速報	○	—	—	○	○

※Jアラート(全国瞬時警報システム)は、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を国から市区町村へ、人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムです。

生ごみの減量に取り組みましょう～「もうひとしぼり」でごみの減量～

▷申請先／問い合わせ先＝市公衆衛生組合連合会事務局【市民環境課環境衛生係(☎内線124)】

■生ごみ減量のポイント

「燃えるごみ」の重さに占める割合が最も多いのは「水分」で、その多くは生ごみに含まれています。生ごみは約70%が水分で、生ごみを減らすことが、ごみ減量への近道になります。

■今日からできる生ごみ減量のこつ

- ①計画的な買い物をして、捨てるものを減らす。
- ②ぬれた生ごみは、水分を「もうひとしぼり」してからごみに出す。
- ③野菜の皮などは、ぬらす前にごみに出す。
- ④堆肥として、ガーデニングなどに活用する。

■「電動生ごみ処理機」の購入費を助成

市公衆衛生組合連合会は、生ごみの減量・資源化を促進するため、家庭用電動生ごみ処理機の購入費を助成しています。

▷対象＝市内在住の電動生ごみ処理機を購入予定の人(購入前に申請が必要です)

- ▷補助率＝購入費の1/3以内(上限2万円)
※1,000円未満の端数は切り捨て
- ▷申請締切日＝令和2年2月28日(金)
- ※申請者が多数の場合は、早期に受け付けを終了することがあります。
- ▷申請に必要なもの＝印鑑、購入先の見積書、機種の分かるカタログなど
- ▷その他
 - ・メーカー、価格は問いませんが、原則市内の小売店で購入する電動生ごみ処理機に限ります(通信販売などでの購入は対象外)。
 - ・補助は1世帯につき1台に限ります。

生ごみ「もうひとしぼり」の効果

市内全世帯でぬれた生ごみをもうひとしぼりし、1回30cc(大さじ2杯分)の水切りをするだけで、市全体で年間約46t以上のごみを減量できます。

※大船渡市の世帯数1万5千世帯、年104回(週2回×52週)で計算

おおふなぽーとから

各種イベントのお知らせ

▽問い合わせ先＝おおふなぽーと(☎②6001)

1 パンケーキで作ろう！ ちっちゃなおいしいクリスマスツリー

▽期日＝11月30日(土)
▽時間＝午前10時～正午
▽会場＝2階和室ほか
▽内容＝パンケーキを重ね、フルーツなどで飾りクリスマスツリーを作成します。
▽講師＝菅野香澄さん(管理栄養士)

▽対象＝親子
▽参加料＝1人500円
▽定員＝10人程度
▽持参するもの＝エプロン、三角巾、マスク、飲み物、平皿、フォーク、手拭きタオル
▽申込期限＝11月26日(火)

2 巨大ゲームで遊ぼう！防災 すごろく&防災絵合わせ

▽期日＝11月30日(土)～12月1日(日)
▽時間＝午前9時～午後5時30分

▽会場＝2階多目的室
▽内容＝防災に関する巨大すごろく、巨大神経衰弱ゲームを設置します。
▽対象＝どなたでも
▽その他＝申し込み不要、無料で遊べます。

3 ぐるぐるキャタピーで 遊ぼう！

▽期日＝12月7日(土)
▽時間＝午前10時30分～11時30分、午後2時～3時
▽会場＝2階多目的室
▽内容＝ぐるぐるキャタピー(遊具)に乗って、回転しながら体全体を使って遊びましょう。
▽対象＝どなたでも
▽その他＝申し込み不要、無料で遊べます。

4 クレイアートで飾るフォト フレーム造形教室

▽期日＝12月8日(日)
▽時間＝午後1時30分～3時



■共通事項

▽申込方法＝電話または直接申し込みください。
※定員になり次第締め切り
▽その他＝各イベントの主催は、NPO法人おはなしころりんです。

おおふなぽーとの利用者が10万人に到達しました

10月24日、おおふなぽーと(市防災観光交流センター)の延べ利用者が、10万人に到達しました。

おおふなぽーとは、平成30年6月に全館供用開始となり、1年5カ月目で10万人に到達。

同日、10万人目の利用者となったのは、福島県南相馬市より研修で来館された、井上精三原町区長会会長ほか18人の皆さんでした。

記念セレモニーでは、大船渡産の水産加工品の詰め合わせや花束が贈呈され、井上さんは「南相馬市も震災では大きな被害を受け、大船渡の津波伝承館を研修場所として選んだ。本日も学んだことや大船渡の状況を地元で伝えたい」と述べ、地域防災への決意を新たにしました。

おおふなぽーとは、毎月各種イベントを開催しているほか、会議室や自習スペースなどの使用、子ども向けの遊具や絵本の利用などができます。ぜひお越しください。

▷問い合わせ先＝おおふなぽーと(☎②6001)



来館10万人目となった原町区長会の皆さん